

富士山噴火を想定した 保小中の同日引き渡し訓練

富士河口湖町立教育センター

富士山科学研究所

富士河口湖町地域防災課

藤巻桂吾

久保智弘

小佐野正吉

令和5年11月10日
南都留地域教育フォーラム

自然災害は地域全体に関わる『自分ごと』



保育所



小学校



小学校



中学校



保育所



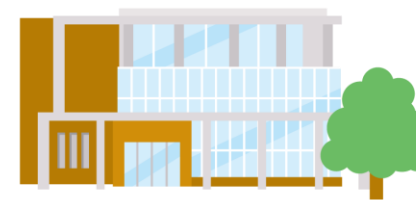
小学校



保育所

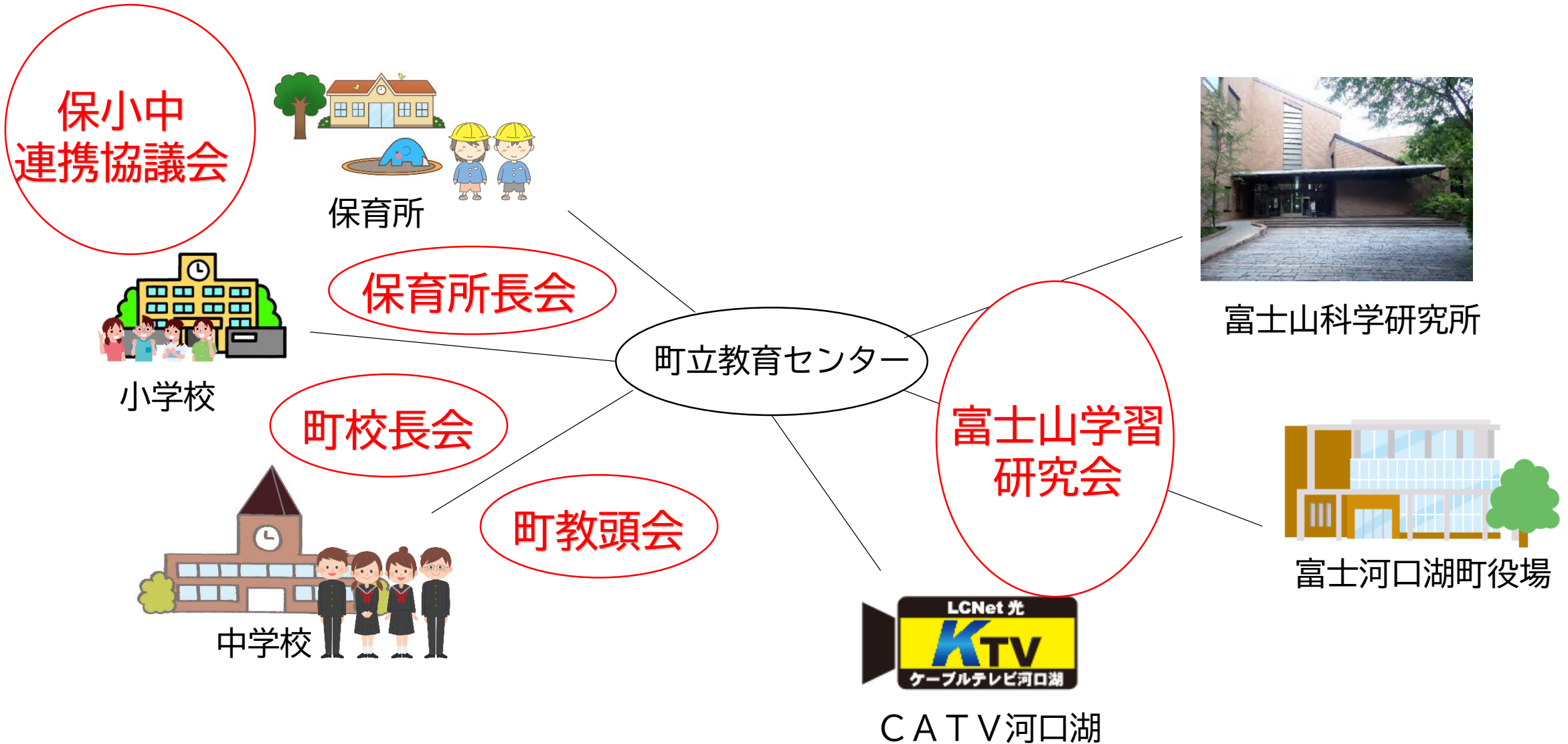


富士山科学研究所



富士河口湖町役場

町立教育センターは『つなぎ役』



訓練は2回

町学校教育課

町子育て支援課

勝山中学校区

- ・ 勝山中学校
- ・ 勝山小学校
- ・ 西浜小学校
- ・ 大嵐小学校
- ・ 勝山保育所
- ・ 足和田保育所
- ・ 富士ヶ嶺保育所

湖北中学校区

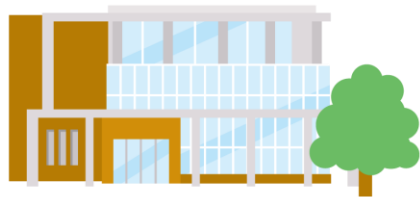
- ・ 湖北中学校
- ・ 大石小学校
- ・ 河口小学校
- ・ 大石保育所
- ・ 河口保育所

富士山科学研究所および町との連携



富士山科学研究所

- 訓練の監修、記録、アンケート実施および指導・助言
- 共通した判断基準の監修『引き渡しマニュアル』
- 富士山火山避難基本計画の解説



富士河口湖町役場
地域防災課

- 情報伝達手段の提供
- 町と学校・保育所との情報共有体制構築
- 役場内の情報伝達訓練
- 訓練の指導・助言

引渡し訓練の条件設定

富士山の警戒レベル

種別	名称	対象範囲	噴火警戒レベル(1-5)	火山活動の状況	住民等の行動及び登山者・入山者等への対応	想定される現象等
特別警報	噴火警報(居住地域)または噴火警報	居住地域及びそれより火口側	5(避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ●大規模噴火が発生し、噴石、火砕流、溶岩流が居住地域に到達(危険範囲は状況に応じて設定)。 宝永(1707年)噴火の事例 12月16日～1月1日:大規模噴火、大量の火山灰等が広範囲に推積 その他の噴火事例 貞観噴火(864～865年): 北西山腹から噴火、溶岩流が約8kmまで到達 延暦噴火(800～802年): 北東山腹から噴火、溶岩流が約13kmまで到達 ●顕著な群発地震、地殻変動の加速、小規模噴火開始後の噴火活動の高まり等、大規模噴火が切迫している(噴石飛散、火砕流等、すぐに影響の及ぶ範囲が危険)。 宝永(1707年)噴火の事例 12月15日昼～16日午前(噴火開始前日～直前): 地震多発、東京など広域で揺れ
			4(高齢者等避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)。	警戒が必要な居住地域での高齢者等の要配慮者の避難、住民の避難の準備等が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ●小規模噴火の発生、地震多発、顕著な地殻変動等により、居住地域に影響するような噴火の発生が予想される(火口出現が想定される範囲は危険)。 宝永(1707年)噴火の事例 12月14日まで(噴火開始数日前): 山麓で有感となる地震が増加
警報	噴火警報(火口周辺)または火口周辺警報	火口から居住地域近くまで	3(入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	登山禁止・入山規制等危険な地域への立入規制等。	<ul style="list-style-type: none"> ●居住地域に影響しない程度の噴火の発生は地震、微動の増加等、火山活動の高まり 宝永(1707年)噴火の事例 12月3日以降(噴火開始十数日前): 山中のみで有感となる地震が多発、鳴動毎日あった
			2(火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。火口周辺への立入規制等。	<ul style="list-style-type: none"> ●影響が火口周辺に限定されるごく小規模の発生等。 過去事例 該当する記録なし
予報	噴火予報	火口内等	1(活火山であることに留意)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ●火山活動は静穏(深部低周波地震の多発等)

Lv3では：

噴火前のため、被害は発生していない状況

- 校舎が利用可能
- 引渡し対応に専念
- 中学校区で行うことで、兄弟・姉妹を同時に引取



火口から居住地域近くまで

3(入山規制)

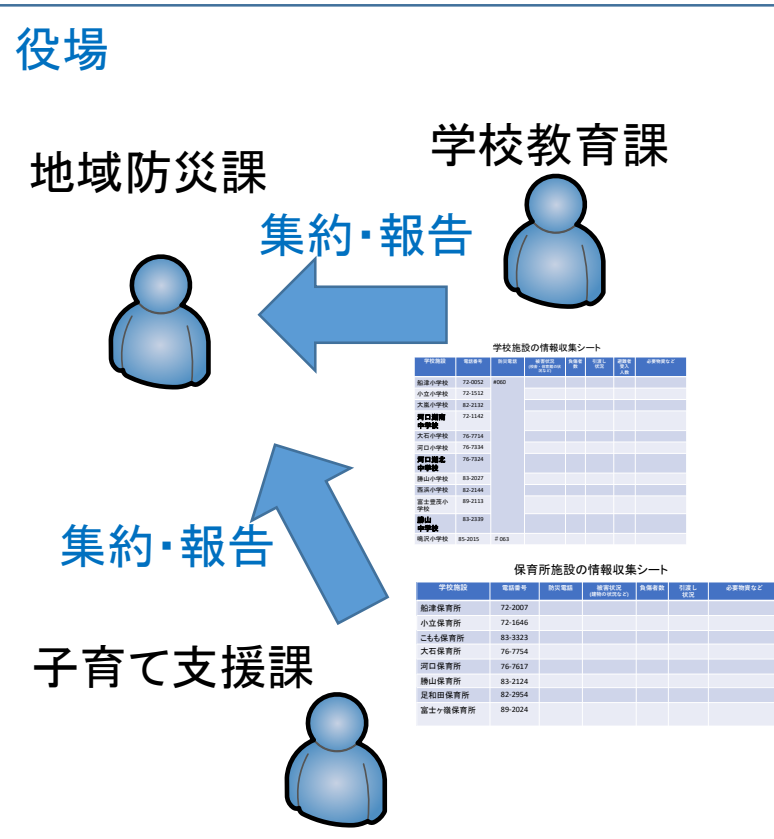
居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。

登山禁止・入山規制等危険な地域への立入規制等。

学校と行政が連携した訓練の実現

災害情報伝達の検証

- 目的
- 地域防災課までの情報伝達を確認(地域防災計画)
 - 多重化した報告
 - 保育所の連絡手段の確認
 - 連絡様式の確認



災害時状況報告票(学校版)

FAX

デジタル行政無線

デジタル行政無線

FAX

災害時状況報告票(学校版)

FAX

災害時状況報告票(保育所版)

中学校

- 学校の報告
- 中学校区をまとめて報告

小学校

災害時状況報告票(学校版)

学校種別	学校	届出番号
報告日時	年 月 日 時 分	報告者
報告先	部署	対応者
報告内容	報告内容	備考
状況	当日の在籍人数 人 完了人数 人 未完了人数 人 災害発生後人数 人のうち安否確認完了 人 未確認人数 人 避難 人 安否確認済 人 帰宅を要しない 人 帰宅を要する 人	児童等の対応状況(災害発生からの経過時間と連絡する、状況なども可能な範囲で記載) 報告者の人数を記載する。未完了については対応の内容を記入する。
連絡手段	災害発生後 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	報告者との状況を確認する。
備考	経費なびが割れが見られる(建物を使用可能)。 柱や梁に大きなひび割れ・破断が見られる(危険)。 崩壊した。	
その他	児童等の状況を把握する。	
ライフライン	●電気 可/不可 ●水道 可/不可 ●ガス 可/不可 ●下水道 可/不可 引渡しした保護者家族 近隣の住民 人(保護者) 人(近所等)	
避難状況	必要に応じて、用や避難の経路状況(避難所)を把握し、避難所へ避難していること、避難所へ避難していること、避難所へ避難していること。	
避難所	必要に応じて、用や避難の経路状況(避難所)を把握し、避難所へ避難していること、避難所へ避難していること、避難所へ避難していること。	
避難所	必要に応じて、用や避難の経路状況(避難所)を把握し、避難所へ避難していること、避難所へ避難していること、避難所へ避難していること。	

デジタル行政無線 移動系

駆けつけ、または電話

保育所の情報も小学校から学校教育課にデジタル行政無線移動系で連絡

保育所

災害時状況報告票(保育所版)

学校種別	学校	届出番号
報告日時	年 月 日 時 分	報告者
報告先	部署	対応者
報告内容	報告内容	備考
状況	当日の在籍人数 人 完了人数 人 未完了人数 人 災害発生後人数 人のうち安否確認完了 人 未確認人数 人 避難 人 安否確認済 人 帰宅を要しない 人 帰宅を要する 人	児童等の対応状況(災害発生からの経過時間と連絡する、状況なども可能な範囲で記載) 報告者の人数を記載する。未完了については対応の内容を記入する。
連絡手段	災害発生後 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	報告者との状況を確認する。
備考	経費なびが割れが見られる(建物を使用可能)。 柱や梁に大きなひび割れ・破断が見られる(危険)。 崩壊した。	
その他	児童等の状況を把握する。	
ライフライン	●電気 可/不可 ●水道 可/不可 ●ガス 可/不可 ●下水道 可/不可 引渡しした保護者家族 近隣の住民 人(保護者) 人(近所等)	
避難状況	必要に応じて、用や避難の経路状況(避難所)を把握し、避難所へ避難していること、避難所へ避難していること、避難所へ避難していること。	
避難所	必要に応じて、用や避難の経路状況(避難所)を把握し、避難所へ避難していること、避難所へ避難していること、避難所へ避難していること。	
避難所	必要に応じて、用や避難の経路状況(避難所)を把握し、避難所へ避難していること、避難所へ避難していること、避難所へ避難していること。	

引渡しの様子（勝山中学区）

4校(1中学、3小学校)と3保育所で引き渡しを実施



勝山中



豊茂小



足和田保育所



勝山中

人数	引渡し	時間	備考
107	なし	なし	3:39 豊茂小富田校 終了
1年 24	なし	なし	3:46 勝山保 終了
1年 24	なし	なし	3:57 足和田保 終了
2年 23	なし	3:35	1-1 まさき 2人 2人 2人 2人
3年 36	なし	3:35	1-2 2人 2人 1人 3人
	なし	3:35	2年 1人 1人 1人 1人 4人
	なし	3:35	3年 1人 1人 1人 1人 4人
	なし	3:35	3:53 終了
	なし	3:35	3:57 勝山中 報告
	なし	3:35	4:01 勝山小 終了
	なし	3:35	3:50 豊茂小 終了 勝山中
	なし	3:20	1-1 6人 2人 11人
	なし	3:20	1-2 13人 3年 14人



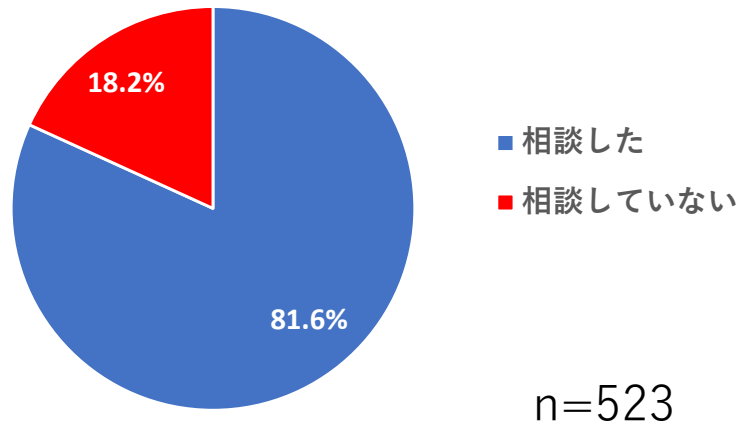
早く帰れる機会と思って、遊んでしまったり、保護者が集まってお話を始めてしまったりなど、災害について考えてもらう機会の創出も必要。

- 初動での情報共有と指示
- デジタル行政無線 移動系の使い方
- 情報集約方法

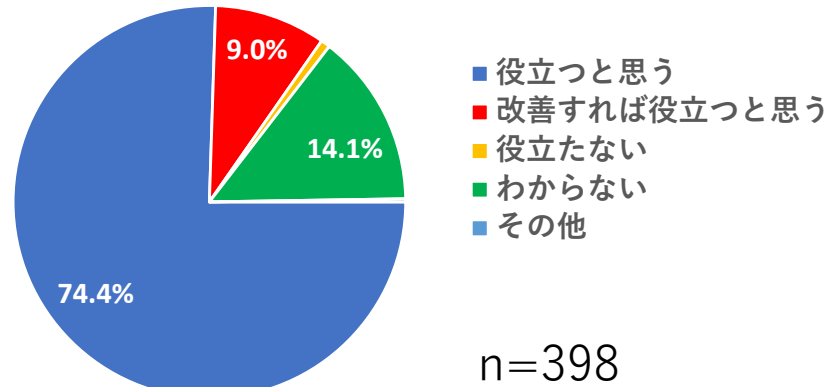
といった課題が出てきました。

R5年度アンケート結果(7校+5保、 20230616 16時時点)

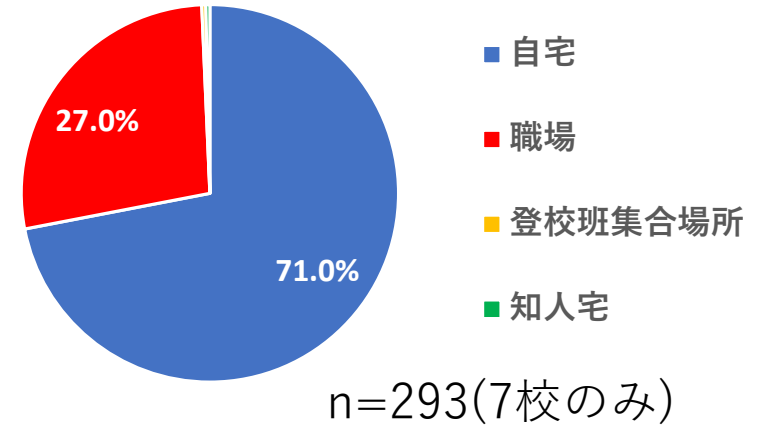
当日「誰が」引き取りに行くか事前に家族内(児童生徒、親戚など)で相談しましたか？



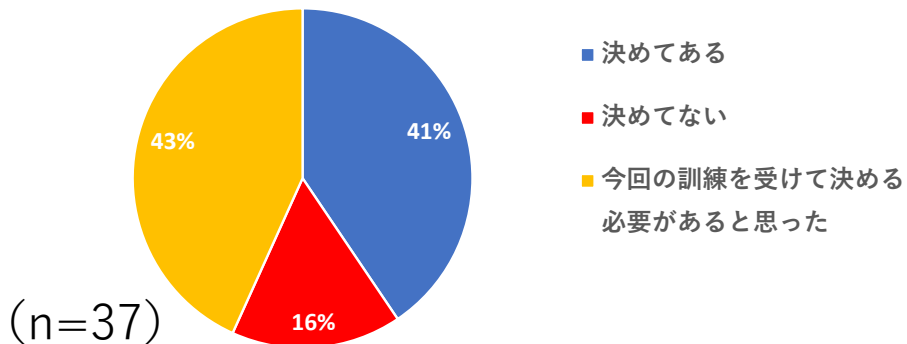
今回行った中学校区の引渡訓練は実際の災害時に役立ちそうでしょうか？(小中学校のみ)



引き取りに向かう際に最初にいた場所を教えてください。



富士北麓地域にお住いで学校に通っているお子さんをお持ちの先生に伺います。もし今回の訓練のように学校で引き渡しとなった場合、ご自身のお子さんの引き取り方法について決めてありますか？

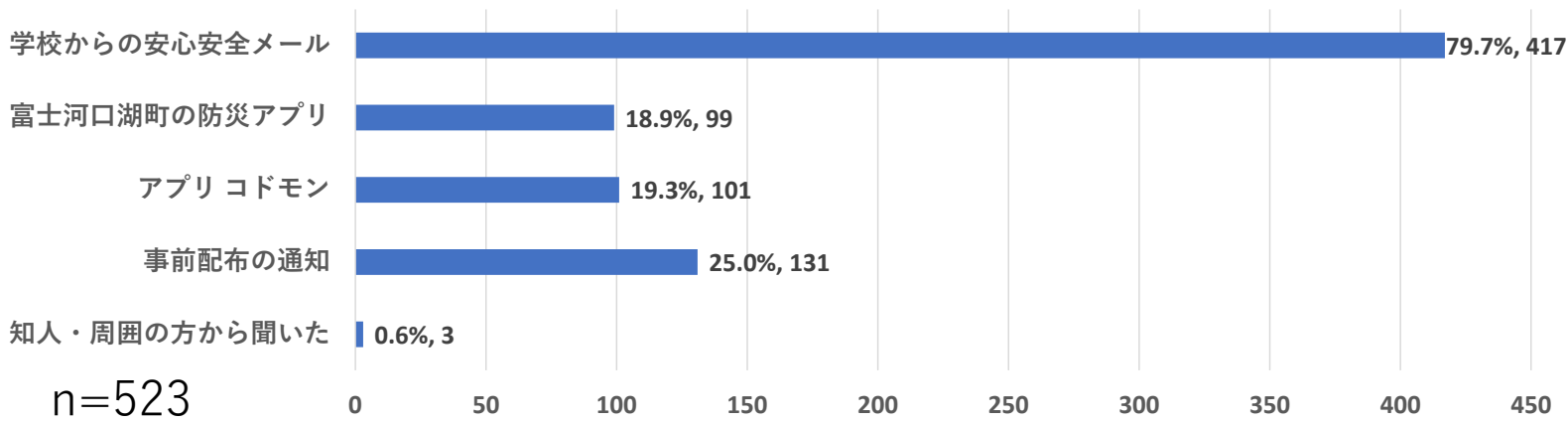


アンケートから、保護者からも中学校区単位での実践的な訓練が必要である意見が見られた。一方で、事前周知のため、自宅から引き取りに来られる方や時間前に来てしまう保護者なども多くみられた。

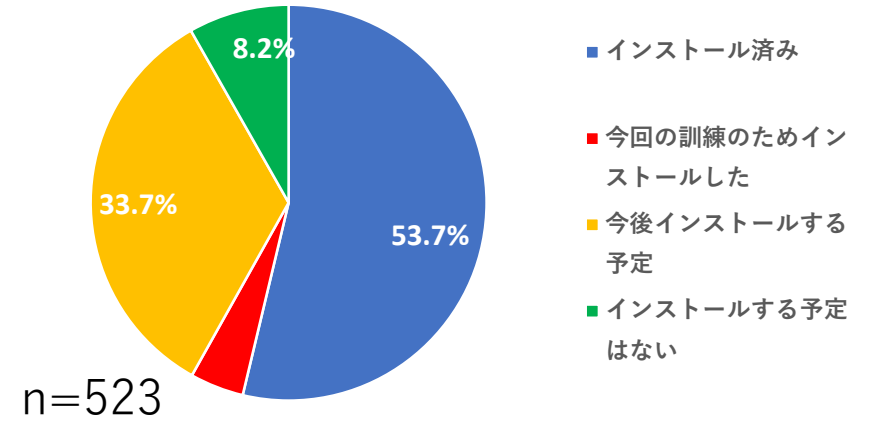
教職員へのアンケートからも実践的な訓練の必要性や家族で話し合っておくことの必要性を感じてもらえた。

R5年度アンケート結果(7校+5保、 20230616 16時時点)

引渡訓練について、訓練開始のお知らせはどのように受け取りましたか？(複数回答可)



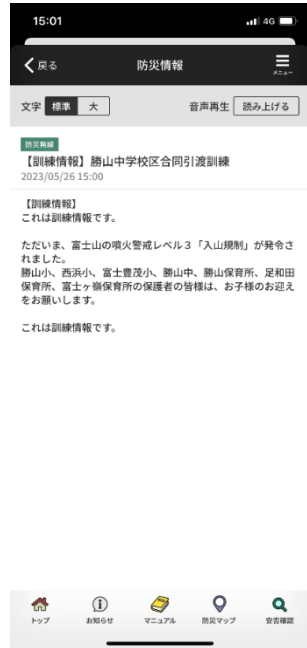
富士河口湖町の防災アプリをインストールされましたか？



引渡し訓練の開始を町の防災アプリでも周知。

訓練により防災アプリのインストールを促進。

地域の防災力向上にも貢献。



情報伝達手段の提供 デジタル行政無線 同報系



防災無線（町内96箇所）



ケーブルテレビ河口湖アプリ



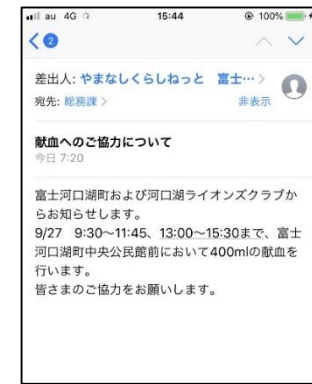
町ホームページ



ケーブルテレビ河口湖放送



町防災アプリ



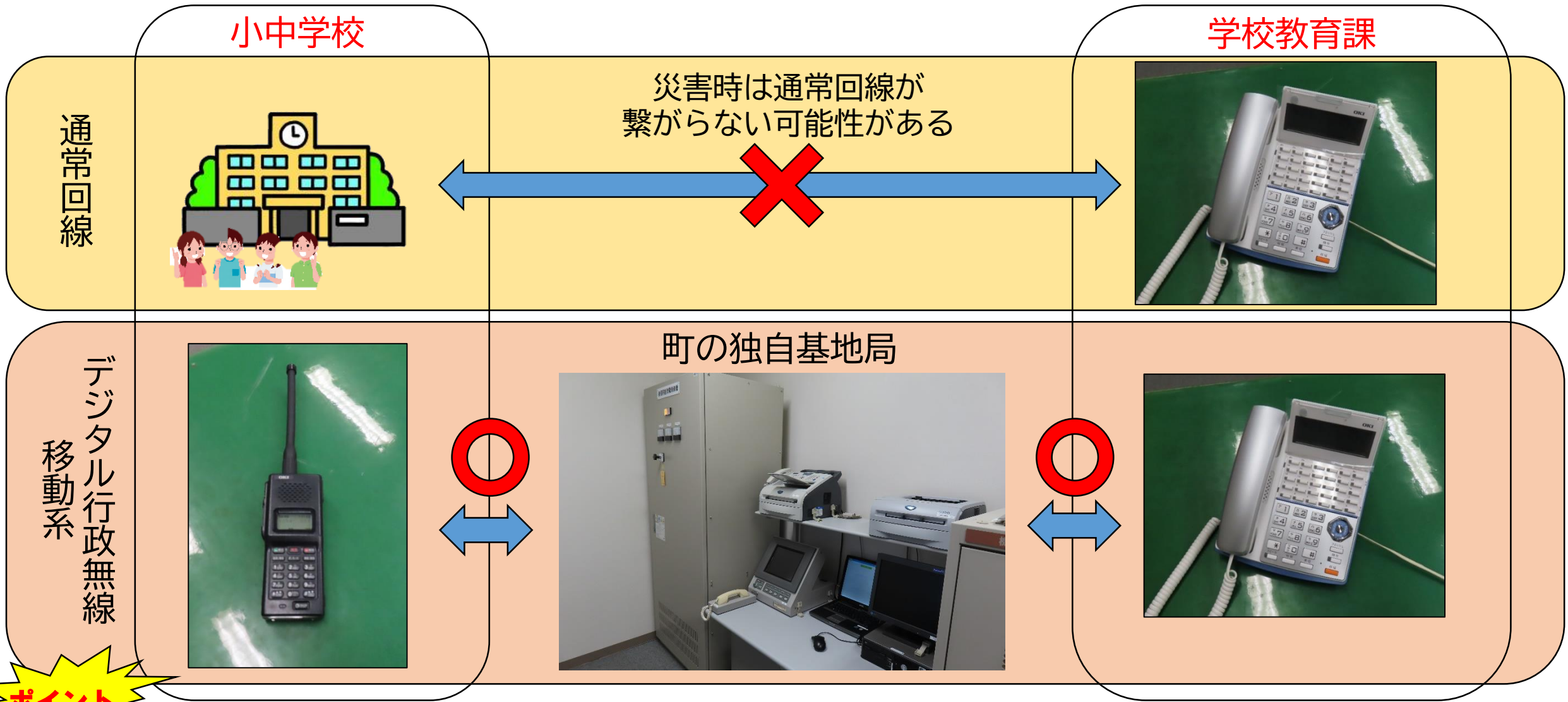
メールサービス
やまなしくらしねっと

ポイント

災害時は様々なメディアから
情報を取得することが重要

- ① インストールが増加した事で実災害時の活用につながった
- ② アプリを知ってもらった事で情報収集の重要性を周知できた

情報伝達手段の提供 デジタル行政無線 移動系



デジタル行政無線移動系は通常回線とは使用方法が異なる

教職員の異動で使用方法不明に

訓練等で使用方法を確認しておくことが重要

町と学校・保育所との情報共有体制構築

小中学校



学校教育課



地域防災課



保育所



子育て支援課



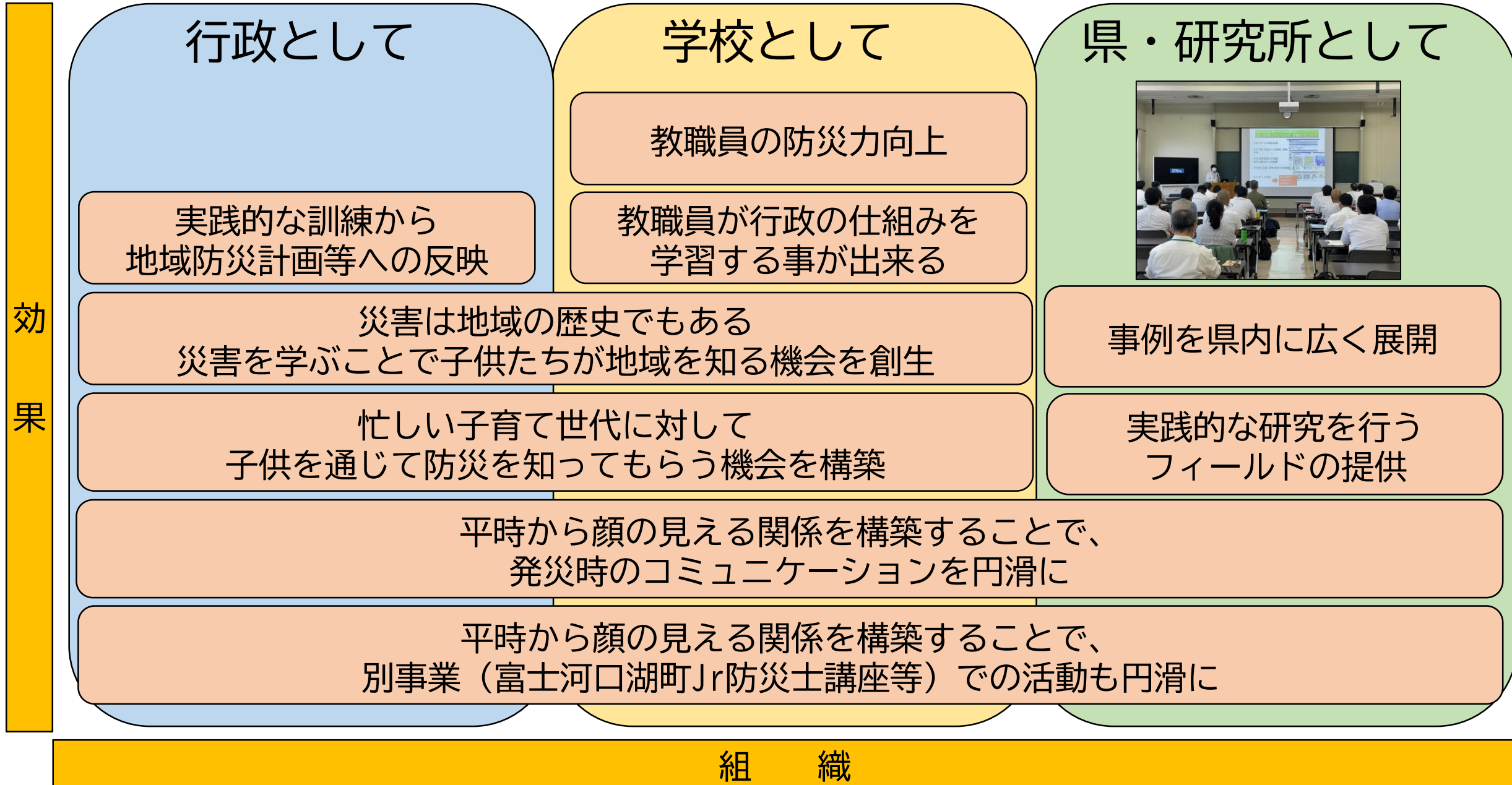
ポイント

組織単体での訓練は
これまでも実施していた

災害時は関係機関が
同時に活動する

関係機関が同時に訓練する事によ
り実践的な訓練となる

地域連携の意義・効果



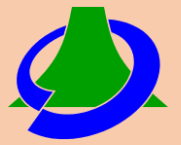
目指すのは地域全体での防災力向上 ⇒ 災害に強いまちづくり



自主防災
自主防災会



保育所



町立教育センター



富士五湖消防本部



自衛隊



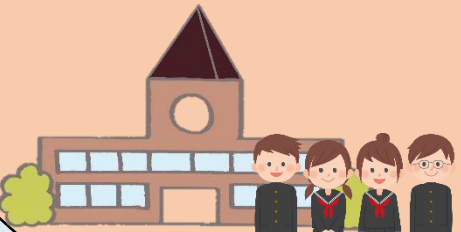
小学校



富士山科学研究所



交通安全協会



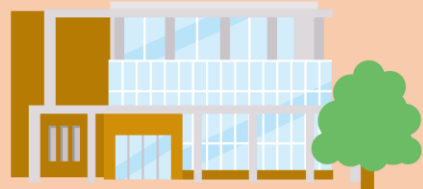
中学校



ケーブルテレビ
河口湖



自治会



富士河口湖町役場



富士河口湖町消防団